

七戸養護学校小学部の4人

全国絵画展で入賞・入選



相内さんの作品「ゴマファザラ」
「シのあかちゃんかうまれたよ」



佐々木さんの作品
「消防士がんばれ」



佐々木健仁さん



相内 玲舞さん



木村 侑柊さん



浦田 吟さん

七戸町の七戸養護学校（伊藤良輔校長）小学部3年の相内玲舞さんが、全国絵画コンクール「我ら海の子展」で、同じく3年の佐々木健仁さんが「障害者雇用支援月間における絵画・写真コンテスト」の絵画・小学生の部で、それぞれ2位に当たる賞を受賞した。海を題材にしたコンクールは、子どもたちの海への関心を高め、海洋環境問題

を考える機会をつくろうと、サークルクラブ協会（東京）と日本海洋少年団連盟（同）が主催。幼児と小学生が対象で、53回目の今回は全国から2758点の応募があった。

相内さんは、青森市の浅虫水族館でゴマファザラシの赤ちゃんが生まれたニュースを見て絵筆を走らせ、同連盟会長賞を受賞。「アラザラシの毛をいろいろな色

を使って描いた。かわいくできた」と話す。同3年、浦田吟さんの作品は佳作に入選した。

一方、コンテストは、障害者雇用への理解促進と啓発を目的に、高齢・障害・求職者雇用支援機構（千葉県）が主催。特別支援学校の児童、生徒などが対象で、「働くこと」をテーマにした絵画部門には全国から1252点の応募があった。

佐々木さんは、火災現場で消防士が放水している場面を描き、同機構理事長賞を受賞した。「消防士はかっこよくて憧れ。燃えている火のところが頑張った」と笑顔を見せた。同3年、木村侑柊さんと相内さんの作品は同機構理事長奨励賞を受賞した。

（佐々木彩乃）